

平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東
 コード番号 6046 URL http://linkbal.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉弘 和正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 馬場 博明 TEL 03 (6222) 6827
 経営管理本部 本部長
 定時株主総会開催予定日 平成29年12月22日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 平成29年12月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年9月期の業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

（1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	2,652	23.7	464	57.8	494	58.5	313	64.8
28年9月期	2,144	24.5	294	11.2	311	10.2	189	21.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年9月期	96.56	—	27.5	29.6	17.5
28年9月期	58.44	—	19.8	22.9	13.7

（参考）持分法投資損益 29年9月期 ー百万円 28年9月期 ー百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	1,837	1,221	66.5	384.33
28年9月期	1,495	1,051	70.3	323.68

（参考）自己資本 29年9月期 1,221百万円 28年9月期 1,051百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年9月期	433	5	△143	1,459
28年9月期	251	△16	—	1,164

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
30年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,331	5.3	248	3.0	248	△8.2	154	△7.7	48.59
通期	2,905	9.5	568	22.3	568	15.1	352	12.6	110.95

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

29年9月期	3,250,000株	28年9月期	3,250,000株
29年9月期	73,035株	28年9月期	—株
29年9月期	3,241,767株	28年9月期	3,250,000株

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度における我が国経済は、金融緩和政策の継続等を背景に、企業業績の回復や雇用環境の改善が続いており、個人消費も底堅く推移するなど、総じて景気は緩やかな回復基調にて推移しました。

この様な経営環境の下、当社は10月に「街コンジャパン」サイトの全面リニューアルを行い、ユーザーが必要情報を見つけやすくすることや、9月より恋活マッチングアプリ「Couplink(カップリンク)」との連動を開始するなど、ユーザーの目線に立った使いやすいサイトへの改善を継続いたしました。加えて、当期においても引き続き「イベントカテゴリーの拡大」「イベント開催エリアの拡大」「イベント掲載数の拡大」の各施策につき、積極的にイベントECサイトの拡大を進めました。

「イベントカテゴリーの拡大」につきましては、謎解きイベント、アニメをテーマにしたイベント、婚活パーティーなど人気の高いイベント開催に加え、スポーツ、旅行をテーマにしたイベントや、自分磨きのための学びを通じた交流イベント、大企業・有名企業とのコラボレーションイベント等、多彩なイベントを提供することで、参加者の裾野を広げました。

「イベント開催エリアの拡大」につきましては、特に他社が主催する街コンイベントの掲載数を増加することにより、主要都市だけでなく全国の主な市町村での開催の拡大を図りました。その結果、イベント開催数は大幅に増加し、当事業年度におけるイベント参加者数は約88万人、対前年同期比49%増と順調に推移いたしました。

「イベント掲載数の拡大」につきましては、飲食店のアイドルタイムを利用した開催に加え、モーニングタイム、ランチタイム、ディナータイム、平日昼の時間帯を活用するなど掲載イベントの開催時間を拡大することにより、多様化するお客様のニーズに合わせ、積極的に掲載を行った結果、9月末現在では対前年同期比114%増となりました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高は2,652,811千円(前年同期比23.7%増)となり、また、損益面では、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が2,188,005千円(前年同期比18.3%増)となった結果、営業利益は464,806千円(前年同期比57.8%増)、経常利益は494,061千円(前年同期比58.5%増)、当期純利益は313,028千円(前年同期比64.8%増)となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。サービスごとの取り組みは以下のとおりであります。

(イベントECサイト運営サービス)

当事業年度では、当社の運営する「街コンジャパン」サイトへの訪問者数が堅調に増加し、7月には会員が100万人を突破いたしました。アニメをテーマにしたイベントなどの自社企画を行うとともに、イベント参加者を同じオフィスビルに入居している企業の社員に限定した「ビルコン」の企画を行うなど人気の高いイベントコンテンツの掲載を進めました。また、謎解きイベント、屋外でのバーベキューイベントや美術館・動物園・水族館でのイベントへの参加者が増加いたしました。「街バルジャパン」サイトにおいては、当社の企画により鳥取県が東京都千代田区大手町で主催したグルメイベント「Cheers! OTEMACHI2017 夏バル×鳥取県 鶏のグルメ市」などの話題性の高いイベントの掲載を行いました。

これらの結果、当事業年度におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は2,533,914千円(前年同期比20.9%増)となりました。なお、売上高の主な内訳は、自社が主催する街コンイベントにおける売上高が1,310,632千円(前年同期比4.6%減)、他社が主催する街コンイベントによる売上高が1,155,296千円(前年同期比73.5%増)、街バルイベントによる売上高が67,985千円(前年同期比20.9%増)となりました。

（WEBサイト運営サービス）

「KOIGAKU（恋学）」サイトでは、3月にサイトの利便性の向上と新規ユーザーの増加を目的とした、サイトリニューアルを実施いたしました。また、前事業年度に引き続きオリジナルコンテンツの制作・配信を強化することによりページビューが順調に推移し、広告販売増による売上高増加に寄与いたしました。加えて、9月より恋活マッチングアプリ「Couplink（カップリンク）」と「街コンジャパン」サイトとの連動を開始し、ユーザーの利便性向上を図りました。

これらの結果、当事業年度におけるWEBサイト運営サービスの売上高は118,897千円（前年同期比144.3%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における総資産は1,837,034千円となり、前事業年度末に比べ341,370千円増加いたしました。これは主に、業容拡大に伴う現金及び預金の増加が258,608千円、未収入金の増加が18,546千円、繰延税金資産の増加が24,926千円あったことによるものであります。

（負債）

当事業年度末における負債は616,028千円となり、前事業年度末に比べ172,329千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加が74,176千円、未払法人税等の増加が68,674千円、賞与引当金の増加が18,892千円あったことによるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産は1,221,006千円となり、前事業年度末に比べ169,040千円増加いたしました。これは、当期純利益の計上による利益剰余金の増加が313,028千円、自己株式取得が143,988千円あったことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末から295,368千円増加し、1,459,631千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、営業活動から得られた資金は433,798千円（前年同期は251,506千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益が492,831千円、未払金の増加額が74,176千円、未収入金の増加額が18,546千円、賞与引当金の増加額が18,892千円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、投資活動から得られた資金は5,558千円（前年同期は16,988千円の支出）となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入が32,505千円、有形固定資産の取得による支出が14,094千円、敷金及び保証金の差入による支出が9,101千円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、財務活動により使用した資金は143,988千円（前年同期はなし）となりました。これは、自己株式の取得による支出が143,988千円となったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
自己資本比率	34.3%	70.3%	70.3%	66.5%
時価ベースの自己資本比率	—	307.7%	207.7%	336.7%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 平成26年9月期の時価ベースの自己資本比率につきましては、当社株式が非上場であるため、記載しておりません。

2. 該当する算出数値がない場合には「—」を記載しております。

(4) 今後の見通し

わが国において「希望出生率1.8」の実現を目標とする国策が検討されている環境下、独身男女の新しい出会いの機会を創出する街コンなどのイベントへの期待は引き続き高まることが予想されます。また、内閣府が行った「国民生活に関する世論調査」の結果に見られるように、生活における「モノの豊かさ」と「心の豊かさ」についての重要度では、「心の豊かさ」を求める割合が年々上昇しております。このことから、「モノ消費」から心の豊かさを求める消費者ニーズに応えうる「コト消費」への更なる移行が予想されます。当社はこのような環境下、独身向けイベントECサイトからスタートした「街コンジャパン」において、既存の独身向けイベントのカテゴリー拡大のみならず、経験の価値を提供する「コト」の総合ECサイトを目指しており、コト・カテゴリーの掲載拡大を推進して参ります。また、既存の独身向けイベントにおいては、引き続き開催エリアの拡大および掲載数の増加施策を推進して参ります。掲載数の増加施策を行いながらもイベント参加者の満足度向上を図る為、掲載事業者に対して当社が今まで培ってきた新企画や満足度向上のノウハウを提供し、イベントの総合的な品質向上をサポートして参ります。恋活マッチングアプリ「Couplink (カップリンク)」においては、「街コンジャパン」との連動を一層強化して参ります。国内でもオンライン・マッチング市場が急拡大する中、イベントECサイト「街コンジャパン」を運営している当社だからこそできるリアルとオンライン双方から出会いを提供し、更なるユーザーニーズの取り込みを促進して参ります。グルメイベントECサイトである「街バルジャパン」におきましては、新しい商業施設で開催するイベント、人気の商品とのコラボレーションイベントを軸とし、イベント掲載数増加の施策を実施して参ります。WEBメディアにおきましては「KOIGAKU (恋学)」のコンテンツ強化に注力して参ります。コンテンツ配信数の増加やサイトデザインの改良を行い更なるユーザー数の拡大を目指して参ります。

これらの施策の実行により、平成30年9月期の業績見通しにつきましては、売上高2,905,250千円、営業利益568,500千円、経常利益568,500千円、当期純利益352,470千円を見込んでおります。

上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ適切に対応する体制の整備に努めて参ります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当事業年度 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,164,263	1,422,871
売掛金	10,363	20,993
未収入金	107,952	126,499
前渡金	1,016	5,933
前払費用	10,582	10,305
繰延税金資産	9,393	19,694
その他	138	38,630
貸倒引当金	—	△591
流動資産合計	1,303,710	1,644,337
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,927	87,781
減価償却累計額	△11,727	△20,047
建物(純額)	56,200	67,733
工具、器具及び備品	18,450	21,305
減価償却累計額	△6,261	△10,198
工具、器具及び備品(純額)	12,188	11,106
有形固定資産合計	68,389	78,840
無形固定資産		
商標権	574	472
ソフトウェア	7,327	7,113
無形固定資産合計	7,901	7,585
投資その他の資産		
差入保証金	2,000	2,000
敷金	70,475	78,961
保険積立金	32,505	—
繰延税金資産	10,682	25,308
投資その他の資産合計	115,663	106,270
固定資産合計	191,954	192,697
資産合計	1,495,664	1,837,034
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,231	30,210
未払金	128,306	202,482
未払費用	62,925	70,357
未払法人税等	83,420	152,094
未払消費税等	34,027	29,904
前受金	30,960	12,430
預り金	58,596	57,625
賞与引当金	10,858	29,750
流動負債合計	421,325	584,857
固定負債		
資産除去債務	22,372	31,170
固定負債合計	22,372	31,170
負債合計	443,698	616,028

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当事業年度 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,000	281,000
資本剰余金		
資本準備金	276,000	276,000
資本剰余金合計	276,000	276,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	494,966	807,994
利益剰余金合計	494,966	807,994
自己株式	—	△143,988
株主資本合計	1,051,966	1,221,006
純資産合計	1,051,966	1,221,006
負債純資産合計	1,495,664	1,837,034

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当事業年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	2,144,543	2,652,811
売上原価	603,349	586,240
売上総利益	1,541,194	2,066,571
販売費及び一般管理費	1,246,706	1,601,765
営業利益	294,487	464,806
営業外収益		
受取利息	169	77
保険解約返戻金	17,010	27,542
債務勘定整理益	—	2,831
その他	121	78
営業外収益合計	17,301	30,530
営業外費用		
支払手数料	—	1,193
その他	—	81
営業外費用合計	—	1,274
経常利益	311,788	494,061
特別損失		
固定資産除却損	4,779	1,230
特別損失合計	4,779	1,230
税引前当期純利益	307,009	492,831
法人税、住民税及び事業税	133,386	204,729
法人税等調整額	△16,303	△24,926
法人税等合計	117,083	179,803
当期純利益	189,925	313,028

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	281,000	276,000	276,000	305,040	305,040	862,040	862,040
当期変動額							
当期純利益				189,925	189,925	189,925	189,925
当期変動額合計	—	—	—	189,925	189,925	189,925	189,925
当期末残高	281,000	276,000	276,000	494,966	494,966	1,051,966	1,051,966

当事業年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	281,000	276,000	276,000	494,966	494,966	—	1,051,966	1,051,966
当期変動額								
当期純利益				313,028	313,028		313,028	313,028
自己株式の取得						△143,988	△143,988	△143,988
当期変動額合計	—	—	—	313,028	313,028	△143,988	169,040	169,040
当期末残高	281,000	276,000	276,000	807,994	807,994	△143,988	1,221,006	1,221,006

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当事業年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	307,009	492,831
減価償却費	16,291	13,842
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△938	591
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,076	18,892
受取利息及び受取配当金	△169	△77
保険解約返戻金	△17,010	△27,542
固定資産除却損	4,779	1,230
売上債権の増減額(△は増加)	△349	△10,630
未収入金の増減額(△は増加)	△24,096	△18,546
仕入債務の増減額(△は減少)	6,719	17,979
未払金の増減額(△は減少)	50,499	74,176
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,224	△4,122
前受金の増減額(△は減少)	△5,651	△18,529
預り金の増減額(△は減少)	15,636	△970
その他	8,418	12,886
小計	367,439	552,010
利息及び配当金の受取額	169	77
保険解約返戻金の受取額	17,010	27,542
法人税等の支払額	△133,112	△145,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,506	433,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,379	△14,094
無形固定資産の取得による支出	△3,752	△4,052
敷金及び保証金の差入による支出	△145	△9,101
敷金及び保証金の回収による収入	134	301
保険積立金の積立による支出	△8,845	-
保険積立金の解約による収入	-	32,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,988	5,558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△143,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	△143,988
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	234,517	295,368
現金及び現金同等物の期首残高	929,745	1,164,263
現金及び現金同等物の期末残高	1,164,263	1,459,631

- (5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当事業年度から適用しております。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当事業年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり純資産額	323.68円	384.33円
1株当たり当期純利益金額	58.44円	96.56円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当事業年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
当期純利益(千円)	189,925	313,028
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	189,925	313,028
普通株式の期中平均株式数(株)	3,250,000	3,241,767

(重要な後発事象)

該当事項はありません。